

# Taka Gikai

多可町議会だより  
2019年(令和元年)11月1日 第56号

# 輝



子どもたちの夢の架け橋  
—キッズランドかみ—

## 9月定例会

- ・未来に必要な投資 課題を迫り ▶2
- ・将来を見据えた財政計画を ▶4
- ・ここが聞きたい 12人が一般質問 ▶12

# あなたも わたしも 命は尊い

新しい命に向き合う 「いのちの授業」

多可町出身の助産師の藤井真弓さんに、私たちの命がどこから来たのかなどを、映像も見ながら教えていただきました。その後産道体験、妊婦体験、赤ちゃん抱っこ体験をして、自分たちがどんなふうにお腹の中で育ち、どんな力を使って生まれてきたのかを学ぶことができました。



令和元年10月3日に八千代小学校で6年生対象「いのちの授業」が開催されました。



お待ちかねの「ふれあい体験」では、赤ちゃんとお母さんに実際に触れ合い、話を聞き一緒に遊ぶ体験もしました。新しい命と向き合い、育み与えるお母さんの愛を間近で感じ、新しい気づきがあったようです。

奇跡的な出会いを繰り返して生まれた。すべての命を愛し大切にすることも自分です。  
新しい命、赤ちゃんと接する時の児童たちの眼差し、温かさと思いがやがて見え、思いが深まったように感じました。  
開会の時、保健担当の先生が語った「この授業が温かく優しい授業になるといいな」の言葉通りになったのではないだろうか。  
みんなと自分の命の尊さを知る、このような機会がもっとと広がるよう応援したいと思えます。  
(酒井)



**編集後記**  
議会だよりの編集をはじめ、はや2年が過ぎようとしています。定例会閉会と同時に編集が始まる広報委員会、まるで復習会のようにも、町のこと、議会のことへの理解を深める興味深い仕事でした。委員改選を控え、今の委員ではこれが最後の議会だよりになります。2年間、このメンバーで「読みたくなる議会だより」を目指し編集しました。  
(酒井)

# 未来に必要な投資

## 多可町の明日を明確化

### 評価

- ☆ 町税の徴収率向上 (96.5%→96.85%)
- ☆ 子育て世代包括支援センター開設  
妊娠、出産、子育てに関する総合的な相談支援をワンストップで対応  
お母さんの子育てに大きな力
- ☆ 4, 5歳児の保育料無償化  
子育てするなら多可町
- ☆ 小児インフルエンザ予防接種助成  
健康で人にやさしいまちづくり
- ☆ 新庁舎の開庁  
防災の拠点が完成
- ☆ 北はりま消防西脇消防署多可南・北出張所完成  
24時間体制での消防、救急活動が可能となり  
住民の安全・安心を守る体制が強化
- ☆ キッズランドの民営化に向けた合同保育  
公私連携によるキッズランドかみ、やちよの民営化
- ☆ 中町北小学校改修工事  
老朽化した北校舎とトイレの改修
- ☆ 指定管理施設の見直し  
(29年度1億7900万円→30年度1億4490万円)  
かみ総合福祉センター、やすらぎの郷は  
多可町社会福祉協議会へ譲渡  
青年の家などは富士コンピュータに貸与
- ☆ 地域包括ケアの促進  
コークゼミスタート



何でも相談しに来てね



多可町をしっかり守ります



青雲の家になりました

# 課題を追及

9月3日から9月27日までの25日間の日程で第92回多可町議会定例会を開催しました。  
定例会では30年度決算認定や令和元年度各会計補正予算のほか、消費税法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例や、議員発議による下水道施設の改築に係る国庫補助の継続と予算枠拡大を求める意見書など20案件が提案され、慎重審査の上すべての議案を可決・認定しました。

### 課題

- ☆ 通園バスの運行  
運行経費3700万円で通園バスの利用者25%
- ☆ 子どもたちの学力向上  
全国学力到達度調査 全国平均を下回る
- ☆ 多可町図書館の利用者減  
利用者  
25年度 2万3547人→30年度 1万7813人  
貸し出し冊数  
25年度 12万2781冊→30年度 8万9442冊
- ☆ 松井診療所 診療報酬ダウン  
29年度診療報酬4728万円→30年度3866万円
- ☆ 国道427号豊部バイパス (未開通)  
豊部地内の危険箇所の早期改善
- ☆ マイナンバーカードの発行状況  
カード発行率10.83% (H31.3.31現在)
- ☆ 公共施設等の再配置計画  
財政難の多可町では早期の対応が必要
- ☆ 春蘭荘の現状  
30年度中に取り壊すか、民間譲渡かの結論が出ていない



もっと乗ってね 通園バス



図書館のあり方を考えよう



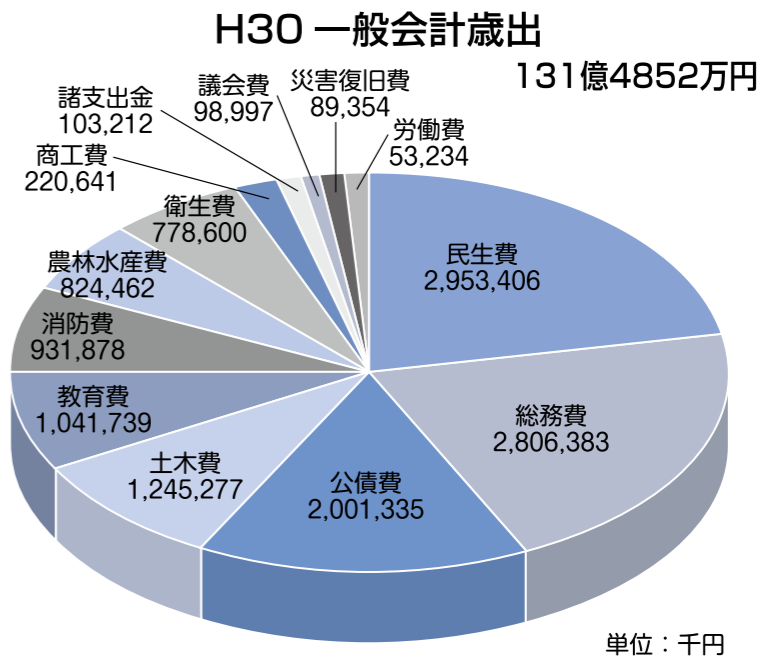
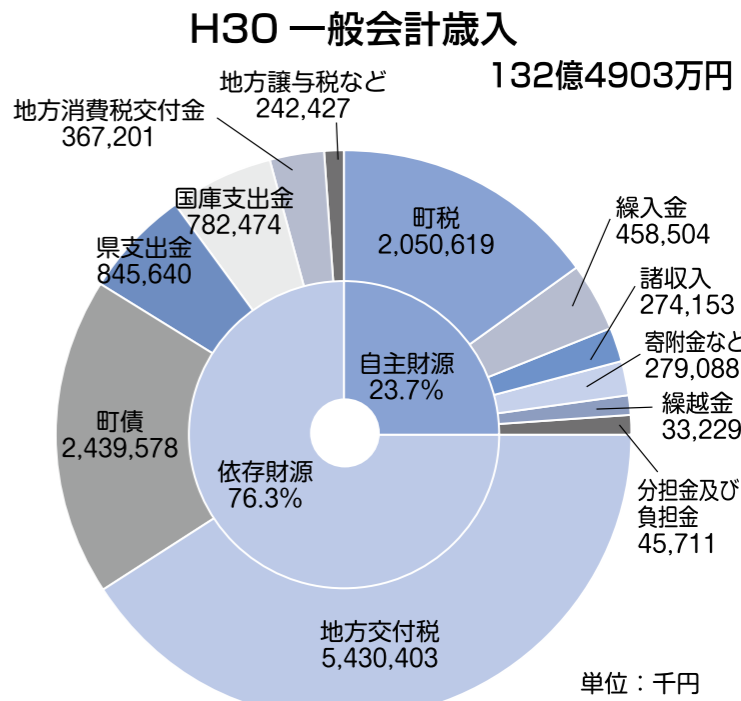
有効活用の道をさがせ 春蘭荘

# 将来を見据えた財政計画を

30年度の一般会計決算額は、歳入が132億4903万円、歳出が131億4852万円。前年度と比較すると、歳入で9億9955万円の8.2%増、歳出は9億3928万円の7.6%と大幅増になっています。これは新庁舎建設と多可南・北消防出張所の建設が主な要因です。特別会計は歳入が56億2417万円、歳出が54億6313万円です。水道会計と下水道会計を含めた歳入は215億9983万円、歳出は216億7152万円です。

### 多可町財政指標

年度	財政力指数	経常収支比率	実質公債費比率	将来負担比率
H26	0.33	92.7	14.7	33.0
H27	0.33	92.0	15.3	29.1
H28	0.33	94.1	16.5	29.9
H29	0.33	95.7	16.8	37.6
H30	0.33	91.3	17.2	43.0



### 財政の悪化

財政力指数(過去3カ年平均)は、30年度は前年度と同じ0.33で、財政力が強いとはいえません。実質公債費比率は17.2%で前年度より0.4%悪化していますが、単年度では29年度の19.4%から16.2%と改善しています。

また、経常収支比率は、91.3%で前年度より4.4ポイント改善しています。しかし、これは地方交付税算定誤りの措置があったためです。これらの財政指標からも、多可町は厳しい財政状況であることに変わりありません。

④ 厳しい財政状況だと思いますが、今後大型事業を展開しようとしたら、財政は大丈夫ですか。併せて、中期の財政計画も策定しており、大型事業を展開しても財政に問題は生じません。

起債残高 (借金)			基金残高 (預金)		
会計名	H29	H30	基金名	H29	H30
普通会計	149億3634万円	154億8722万円	財政調整基金	30億7042万円	28億8309万円
国保・直診	4832万円	4532万円	減債基金	3億3083万円	2億356万円
水道会計	20億6992万円	19億9792万円	特定基金	33億5429万円	32億8987万円
下水道会計	94億6473万円	90億730万円	土地開発基金	1205万円	1207万円
合計	265億1932万円	265億3776万円	国民健康保険基金	2億542万円	2億7678万円
			介護保険給付基金	2億5815万円	2億6271万円

多可町民一人あたり  
**預金 33万4千円**  
**借金 127万8千円**

財政調整基金は財源不足を補ったために、減債基金は公債費の繰り上げ償還のため取り崩しています。

## 多可町の財政健全化に向けて

人口減少が進む中で、景気低迷による町税の伸び悩み、医療・介護・子育て分野での社会保障費は増大、地方交付税の減額で、財政はますます厳しくなります。豪雨災害が多発、大規模化する中、防災・減災対策など、住民の生命と安全を守る役割も高まっています。しかし、多可町の現状では、これらの諸問題にすべて対応できると思えません。ICTやAIなどを活用した業務改革、情報システムのクラウド化などの改革を推進するとともに、公共施設等再配置計画の早期実行、上下水道の広域化などの経営改革などを推し進めなければなりません。議会では、多可町の将来につながる社会基盤整備に目を向けながらも財政状況を常にチェックして、財政再建に向けた提言を引き続きしていきます。

### 反対討論

#### 決算評価表が必要

門脇 保文  
 決算評価表が無いため予算の有効活用が見えません。また不用額が4億6千万円で計画性が乏しいです。「子育てするなら多可町」を本気で考えるのなら「子どもの健康や教育者の自覚」について真剣に検証し取り組んでもらいたいです。

### 賛成討論

#### 安全・安心の拠点づくりが完成

日原 茂樹  
 新庁舎の完成で防災の拠点ができ、南・北消防出張所の建設で住民の安全・安心を守る体制が強化できました。子育て世代包括支援センター「アスパルキッズ」の開設は、お母さんの子育てに大きな力となっています。

### 次回12月定例会日程

令和元年12月3日、  
 12月25日の予定です。  
 16日・17日に  
 一般質問を予定しています。  
 請願の締切日は、11月18日です。

### 第92回多可町議会定例会 賛否の公表 (全員賛成の議案は除く)

番号	案件名	酒井洋子	藤本一昭	笹倉政芳	橋尾哲夫	加門寛治	日原茂樹	市位裕文	大山由郎	門脇教蔵	山口邦政	廣畑幸子	門脇保文	吉田政義	清水俊博
認定第1号	平成30年度兵庫県多可郡多可町各会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
議案第61号	消費税法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例制定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

○印は賛成、×印は反対。賛否同数の場合は、清水議長が裁決します。

# 令和元年10月1日から 使用料が上がります



110円になりました — アスパルー

**どう変わるの**  
消費税が10%に改正されるので、多可町の施設使用料などを改正します。  
**問** 例えば、使用料100円が110円になると実質値上げになるのでは。  
**答** 1円単位の端数が生じる場合は切り捨てて10円単位にしています。端数処理の関係もあり今まで値上げせずにいましたのが今回10%になるので110円とします。

**反対討論**  
負担が増える  
住民の暮らしを守れ

酒井 洋子  
増税で、物価が上がりますが年金も給与も上がりません。1年間の家計消費で給与1カ月分が消費する10%消費税はすべての住民に重荷です。  
消費税を納める必要のない町が、住民負担増のこの時期に値上げは避けるべきです。

**賛成討論**  
住み続けられる  
まちづくりを推進

日原 茂樹  
消費税8%から10%になるのに合わせ、各施設の使用料、手数料などを改定するものです。受益者負担を見直し、少しでも財政運営の健全性を高め、持続可能な財政運営のもと、住み続けられるまちづくりを推進しようとするものです。



チップとしての需要も増えてます

**木材需要に素早い対応を**

指定管理施設の多可町木質バイオマス供給センターを、北はりま森林組合へ無償譲渡します。  
**問** 19年度から事業をしてきましたが経営内容はどうでしたか。  
**答** 29年度より30年度の方が売り上げが伸びています。朝来バイオマス発電も需要があります。森林組合が独自で運営されても大丈夫と判断し、譲渡を決断しました。

**いじめを見逃さない**

いじめ防止対策の実効性を高めるための検証を目的に、多可町いじめ防止対策検証委員会を設置します。  
**問** 会議は原則公開とありますが、またどんなメンバーで構成されますか。  
**答** 会議の開催日時等は町のホームページで公開します。また、委員会は6人以内で、いじめの再調査委員会から2人が入る予定です。

## 大切な下水道環境を守れ

9月定例会初日に、「下水道施設の改築に係る国庫補助の継続と予算枠の拡大を求める意見書」が議員提案で提出し、全員賛成で可決しました。  
多可町は加古川の上流に位置し、下流にきれいな水を送ることを目的に早くから下水道事業に取り組んでいます。  
下水道施設建設後30年近くが経過し、汚水管などの更新また、処理場の改築工事に莫大な費用がかかります。  
国の補助金制度がなくなれば中山間地で財源の

乏しい多可町にとっては、下水道事業の存続自体が危ふまれます。

**賛成討論**

**補助金制度は必要不可欠**

大山 由郎  
多可町の下水道施設は老朽化が進み、汚水管などの改築更新が必要となります。また、汚水処理場は既に耐用年数が過ぎ、その改築工事に膨大な費用がかかります。  
下水道事業存続のためには、国庫補助金制度は必要不可欠です。

## 意見書

令和元年度の国の予算では、浸水対策及び未普及対策等に重点配分され、汚水処理施設などの改築の国庫補助が削減されることが懸念されます。

将来にわたって下水道サービスを確実に提供し、快適な暮らしを守るとともに、未曾有の自然災害へ備えることを強く要望します。

記

- ① 下水道施設の改築に係る国庫補助制度の継続・拡大を図ること
- ② 下水道施設の老朽化対策に必要な予算を確保すること
- ③ 自然災害に備える事前防災の観点から、防災・減災対策等に必要な予算を確保すること

## 優しさあふれる豊かな町づくり



テレビで放映 新人高校駅伝  
— ベルディーホール前 —

親や祖父母を  
サポートしよう

あったか家族多世代住宅助成事業に300万円増額します。  
生まれ育った多可町で、親や祖父母と同居、近居する人に支援する事業で、1000万円以上の新築、増築、改築工事に対して、一律30万円を助成します。

みんなで応援しよう

西脇多可新人高校駅伝大会補助金115万円を増額します。  
日野北バイパスが11月に開通するので、公認コースを変更し「JR鍛冶屋線 跡地道路 開通記念大会」として大会の模様をサンテレビがレース当日夜に放送します。

## 歳出 9月補正予算

款	9月補正	補正後の額
総務費	△476万円	15億1168万円
民生費	1194万円	32億9569万円
衛生費	63万円	8億8648万円
農林水産業費	80万円	8億7253万円
商工費	421万円	2億4026万円
土木費	45万円	12億1566万円
教育費	509万円	9億6665万円
諸支出金	1万円	4420万円
歳出合計	1837万円	114億3449万円
特別会計	7818万円	58億9738万円

\*予算金額は補正のあった科目のみです。合計は現予算の総計です。

安全運転に努めてね

子どもの安全確保対策として、通園バス7台全車に、ドライブレコーダーとアルコールチェッカーを新規に購入し搭載します。費用は43万2千円です。

きめ細やかな  
子育て応援

国の無償化施策では副食費実費負担になり、保育料は無料なのに昨年より負担が増えることがあります。多可町では、独自に補助をします。ご安心ください。

# 新しい議場で

# 力を発揮



緊張がほぐれた瞬間

令和元年8月8日に、新しい議場になって初めての、高校生議会を開催しました。

選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことを受け、議会をより身近に感じてもらうと、平成28年から開いている高校生議会も、はや4回目を迎えました。

生徒会役員を中心に12人の高校生が、日頃感じている思いを投げかけ、ピュアな質問の数々に、答弁する議員たちの準備にも力が入りました。



竹本議長

大山議長

## 歩道付近の雑草対策は

**問** 通学路に雑草が多く、長く伸びています。

**答** 特に加美体育館から北と奥豊部から熊野部の歩道が気になります。自転車などに巻き込むと危険です。雑草除去の対策はどのようになっていますか。



竹本議員

## 洪水対策はいつころか

**問** この夏受けた防災育成シジュニアリーダーの目線で見ると、多可町は洪水対策はどのようになっていますか。

**答** 加美体育館北のような町道兼農道は、各集落で草刈りなどの管理をしています。奥豊部から熊野部の国道は加東土木事務所担当ですが、建設課が確認の上対応しています。

**問** 奥豊部から熊野部の国道は加東土木事務所担当ですが、建設課が確認の上対応しています。

## もっと自転車専用道路を



永尾議員

**問** まだまだ少ない自転車専用道路ですが、安心して通行するために必要ではないでしょうか。中町南小学校東側の道は、車との距離が近く小学生も通りますので、とても危険です。

**答** 水時の不安があります。何か対策をしていますか。  
**問** 川底を掘り下げたり、堤防を高くするなどの河川工事を計画的にすること、ハザードマップの作成や自主防災組織の活動を支援しています。また毎年実施している「多可町防災訓練」で、大規模な災害などに備えています。

## 神姫バスの時刻変更を



大山議員

**問** 西脇行のバスは15時42分発です。ホームルーム終了時間は、15時30分なので、間に合いません。時刻変更はできないのでしょうか。

**答** 現在の時刻は、JR西脇市駅発の電車や高速バスとの乗り継ぎに合わせた時刻となっています。ダイヤ改正は難しい状況ですが、要望はしていきます。

## 小・中連携の中・高連携の取り組みは



藏本議員

**問** 少子化が進む中で、小学・中学の連携教育や中学・高校の連携教育の推進を通して、子どもたちを地元で育成できる環境づくりが必要ではありませんか。

**答** 町では、こども園と小学・中学の連携は必要と考えます。研修や出前授業、体験入学を進めて

**答** 本路線を自転車ネットワーク計画の路線として整備を進めています。安全のために、生徒会で通学路を決めることや交通規則を守りヘルメットなどの装備に加え、危険だと感じる道は避けるようにしてください。

## 加美区北部の国道に街灯を



橋詰議員

**問** 加美区北部轟から鳥羽間の国道427号沿いは、街灯が少なく、人が歩いていると事故が起りやすいです。雨の時には視界も悪くなります。街灯を増やせませんか。

**答** 町の要綱では、街灯などの間隔は概ね80m、明るさは原則20Wです。街灯は要綱通り設置されているものの、木の枝で明かりが届きにくいところもあります。改善できないかを町に働きかけます。



樹木が伸びたぼっぼの道



絹川議員

**安心して通れる  
ぼっぼの道に**

**問** ぼっぼの道は、多可  
高生や中学生の通学路で  
す。雑草のため道が狭く  
なっているのと、夕方か  
ら足元が暗く危険です。  
子どもから高齢者まで  
さまざまの人が安心して  
利用するために、どんな  
取り組みをしているので  
しょうか。  
**答** 照明を遮る高い木を



西坂議員

**高岸東側の堤防  
自転車通行が危険**

**問** 高岸東側の堤防は、  
草が伸びて、自転車通行  
に危険を感じます。  
また、竹や木の枝が飛  
び出しているの、落ち  
てきそうなので怖いです。  
**答** 堤防の草刈りは、天  
田集落が年に2回、2月  
と8月に実施しています。  
今回支障となる枯れた  
竹は、町で撤去しました。



きれいになった堤防  
— 高東橋付近 —

切り明るくしました。  
雑草は年1回7月に刈  
っていますが不十分かも  
しれません。  
できる限り要望に応え  
たいと考えています。



谷口議員

**見守り隊の配置で  
登下校に安全安心**

**問** MU物流前交差点や  
奥中の新宮池と国道の交  
差点など、危険な場所が  
あります。交通事故の現  
状はどうなっていますか。  
また安全な登下校のた  
めに、見守り隊を配置し  
てはどうでしょうか。  
**答** 西脇警察署管内で、  
平成30年は人身事故42件、  
今年に既に3件の死亡事  
故がありました。  
各小学校で安全点検を  
し、危険な箇所の安全対



尾崎議員

**のぎくバスの増便を**

今後も見通しが悪く通  
行に支障があるときは、  
役場に連絡してください。

**問** ホームルームは15時  
30分終了です。放課後ポ  
ランティアなどの活動に  
参加すると、なごみの里  
行き16時発、八千代プラ  
ザ行き15時53分発には乗  
れず、3時間近く待ちま  
す。17時台を増便できま  
せんか。

**答** その路線は、それぞ  
れ花の宮、八千代診療所  
で神姫バスと乗り継ぎが  
あり、時刻の変更は難し  
く、増便は費用の面で厳  
しいです。  
待ち時間を工夫してく  
ださい。

策と、各学校が募集をし  
て登下校の見守りを継続  
します。



危険がいっぱい — 新宮池北 —



今中議員

**加美区西脇月ヶ花  
歩道整備が必要**

**問** 加美区西脇月ヶ花の  
歩道は狭く、歩行者や自  
転車同士の接触事故が実  
際に起きています。  
事故を防ぐための対策  
はどうなっていますか。  
**答** この区間は加美中学



藤原議員

**神姫バスの料金助成  
町外生徒へも**

**問** 多可町民は西脇市へ  
は片道300円ですが、  
西脇市民は630円です。  
通学する人に負担が大き  
いと感じます。

「多可町コミュニティ  
バス乗車パス」を西脇市  
にも導入できませんか。  
**答** 西脇市が通学補助に  
どのように取り組まれて  
いるか正確に把握はして  
いません。

さまざま努力はして  
いますが、実現には至っ  
ていません。

校通学路指定区間です。  
自転車の安全走行のため  
に順次整備を実施してい  
きます。  
当面は、少し回り道に  
なっても安全を優先し事  
故防止に努めてください。



尾崎議員

**多可高生に  
奨学金制度を**

**問** 多可高生に就学援助  
はできませんか。  
近年の少子化に伴い、  
クラス数も減り、2年後  
には6クラスになります。  
多可町には多可高校だ  
けです。通いやすいよう  
に支援できませんか。  
**答** 経済的理由で就学が  
困難な高校生などに「ハ  
ートフル学業支援給付制  
度」で、月額5千円を支  
給しています。

通学定期は、利用回数  
に制限なく年間3200  
0円です。町が運行経費  
を負担しているののでこの  
金額で乗車できます。

**多可町を観光地に**

**問** 多可町は、若い人が  
都会へと移住し、人口が  
減少しています。  
町をアピールできる商  
業施設の建設は考えられ  
ませんか。  
**答** 就職希望の生徒対象  
に事業所紹介をしていま  
す。  
多可町の特徴は、ホー  
ムページなどで発信して  
います。施設は、新設で  
はなく今ある施設を有効  
利用します。



真剣に打ち合わせを重ねる多可高生

「しっかりと考える機会に  
なった」「来年も参加し  
たいです」などの感想が  
寄せられ、十分考え、自  
分の意見を発言できた満  
足感があったようです。  
町長をはじめ、多くの  
役員職員が傍聴に訪れ、  
若い人の意見に耳を傾け  
ていたのが印象的でした。

昨年の反省点は「質問  
の内容を深めること」で  
したが、今回は再々質問、  
再々々質問まで飛び出す  
場面もあり、高校生たち  
の意気込みと、核心をつ  
いた質問の数々を頼もし  
く感じました。  
「政治への関心が高  
まった」「まちのことを  
議員と話せてよかった」  
「多可町を見直した」  
「政治を身近に感じた」



大山由郎議員

**問** 学校を命を守る砦にせよ  
**答** 自らの命を守る力を育成する

警察や地域との連携を含めた取り組みはどうしていますか。  
また、町内の学校は、学校保健安全法で規定されている「危機管理マニュアル」の整備はできていますか。

**大山** 子どもたちの命を守る「砦」となるべき学校は、子どもたちが安心して学べる安全な場所でないけません。いつ起こるか分からない事件・事故に備え、体制を確立しておくことが必要ですが、危機管理の必要性をどう考えていますか。

**教育長**

子どもたちの命を守ることは、学校にとって最大の責務であり何をおいても最優先すべきことだと認識しています。

**大山** 児童生徒の安全を守るための学校の役割は、子どもの安全教育の徹底、施設の安全な環境づくりです。



命を守る砦に — 中町南小学校 —

**教育長** 子どもたちの安全を脅かす事故や事件、自然災害に組織的に対応できるような危機管理体制を整備します。法に基づいて「危機管理マニュアル」を作成して、安全管理と安全教育

の両面で行ってまいります。そして、教育活動全体を通して、自らの命を守る行動ができる力を育成していきます。

**大山** いじめ、暴力行為、金銭強要、暴走行為などの問題行動の発生をどう防ぐのか、事件が起こった時にどう対応するのか、被害を最小限に食い止めるために、どういった学校体制をつくるのかなどを想定した、児童生徒の問題行動に関する危機管理体制は、確立していますか。

**教育長**

迅速に機能する指導体制の確立を目指し、各校で学校いじめ防止基本方針、生徒指導方針を作成し、未然防止・早期対応・早期解決に向けた体制強化をしています。

また、定期的に生徒指導委員会を開催し、情報共有の場を持ち、組織全体、チームで対応することを第一としています。

ここが聞きたい!!

議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに町長と教育長に方針を問います。

議会だよりでは、質問と答弁を要約しています。熱気あふれる発言の数々は本会議場でお聞きください。傍聴をお待ちしています。

全文は多可町議会ホームページを検索



質問議員	質問要旨	掲載ページ
大山由郎	学校を命を守る砦にせよ	13
藤本一昭	通園バス安全運行への対策は	14
	インフルエンザ全額助成を 町有公共財産の管理状況と普通財産の処分は（未掲載）	
門脇保文	太陽光発電設置違反者の公表は	15
	行政評価制度の取り組みは 4市1町で取り組み	
橋尾哲夫	播磨看護専門学校を閉鎖せよ	16
	山口茂吉を偉人伝副読本へ ごみ焼却炉建設計画を中止せよ	
山口邦政	辺地対策債は有効に使い	17
	苦情等の対応について（未掲載）	
吉田政義	高齢者の運転免許証自主返納は	18
廣畑幸子	昼間一人暮らしの人にも安心を	19
	命のバトンの普及啓発に工夫を	
加門寛治	公共財産の処分の進捗状況は	20
笹倉政芳	多可高校の活性化に取り組み	21
酒井洋子	新ごみ処理施設の展望は	22
	農林業公社その後を問う 多可町の海洋汚染対策は（未掲載）	
市位裕文	地元メンバーを入れるべき	23
日原茂樹	RPAの導入で働き方改革を	24
	ドローンの活用を	



藤本 一昭議員

**問** 通園バス安全運行への対策は  
**答** 意識を徹底し確認をする

**藤本** 町内園児の通園に7台のバスを業務委託しています。園児送迎業務の一番大事なことは、安全に運行することです。受託者への指導監督と業務報告はどのようになっていますか。また業務仕様書で、10

万円未満の修繕費用は受託者の負担と決まっていますが、この金額の根拠は何ですか。  
**教育長** まず園児の送迎で、安全の確保が最優先であるとの意識を徹底させ、車両の管理にも万全の注意を払う



安全に走ってね

よう指導しています。毎朝始業点検をして、バスごとに業務記録を作成、翌月提出いただく業務報告書で、適正かどうかを確認しています。また、7台のバスすべてにドライブレコーダーとアルコールチェッカー設置の予算を今期定例会でお願ひしています。それによって安全性がさらに高まります。バス修繕費の受託者負担金額10万円は、兵庫県教育委員会「スクールバス運行業務委託の要件」を参考に定めています。

**答** バランスを見ながら検討

**町長**

アンケートの結果、インフルエンザにかからなかった割合は29年度69・7%から30年度78・4%に改善、学校の欠席者数も大幅に減少し、予防接種の効果があると分りました。

また受けた人の割合は29年度45・2%から30年度56・8%に増え、助成事業の成果も見えました。しかし、未接種の8割以上が、副作用の心配など金銭面以外の理由を上げています。

助成金額を上げてても接種率アップになるとは限らないので、助成の増額は見送り、他の施策とのバランスを見ながら検討します。

**問** インフルエンザ 全額助成を

**藤本** 6カ月〜15歳までのインフルエンザ予防接種助成が昨年始まりました。本年3月に、保護者へのアンケートを実施して予防接種の有効性を検証していますが、結果はどうだったのですか。

**町長**

アンケートの結果、インフルエンザにかからなかった割合は29年度69・7%から30年度78・4%に改善、学校の欠席者数も大幅に減少し、予防接種の効果があると分りました。また受けた人の割合は29年度45・2%から30年度56・8%に増え、助成事業の成果も見えました。しかし、未接種の8割以上が、副作用の心配など金銭面以外の理由を上げています。助成金額を上げてても接種率アップになるとは限らないので、助成の増額は見送り、他の施策とのバランスを見ながら検討します。

**答** 1市1町で信頼される施設を

**町長**

4市1町と1市1町でコスト比較を実施すると、建設費や運営費のメリットは

**問** 行政評価制度の取り組みは

**門脇** 行政評価制度は、他市町では早くから取り組んでいます。多可町では、どのように取り組まれますか。

**答** 検討する

**町長**

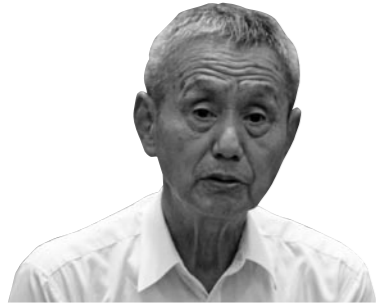
堅実な行政運営のために、既存の成果物を有効活用し、コストをかけずに最大限の効果を発揮できる、効率的で持続可能な行政評価、事務事業評価について検討します。

**問** 4市1町で取り組み

**門脇**

人口減少が予想される中、年々財政負担がのしかかります。ごみ処理施設建設費用、中継施設関係経費も含めて、総合的にコスト削減するべきです。1市1町の焼却施設で

**問** 太陽光発電設置違反者の公表は  
**答** 条例に基づき対応



門脇 保文議員

**門脇** 太陽光発電設置違反者の公表はいつするのですか。施設設置者の義務である看板の設置はどのようにするのですか。発電施設から発生する電磁波は安全なのですか。電波障害についての対応は誰がしますか。

**町長**

公表ですが、業者に対する指導を続けているのが現状です。引き続き県条例に基づき対応していきます。またFIT法に基づき看板設置を引き続きお願いします。電磁波は、国際的なガイドラインで推奨されているよりも低い値を示しました。健康への心配はないと考えます。電波障害は、施設設置者と被害者との間での協議になりますが、電波に対する苦情があることは、設置者に伝えます。

**問** 4市1町で取り組み

**門脇**

人口減少が予想される中、年々財政負担がのしかかります。ごみ処理施設建設費用、中継施設関係経費も含めて、総合的にコスト削減するべきです。1市1町の焼却施設で



お世話になっているみどり園





橋尾哲夫議員

**問** 播磨看護専門学校を閉鎖せよ  
**答** 学校法人の回答書を見て判断

**橋尾** 播磨看護専門学校の本館は昭和50年に建設され、40数年が経過して建て替えの時期が来ています。また、学校経営も厳しいです。将来を考えれば学校を閉鎖し、民間の医療系専門学校を誘致すべきです。

**町長** 小野市から民間の医療系専門学校を誘致したいと、組合管理者に申し入れがありました。この提案を受け管理者で協議しました。専門学校にこの地域での必要な看護師確保ができるか質問書を出し、その解答待ちです。



地域医療に優秀な人材を送り出しています

**問** 山口茂吉を  
偉人伝副読本へ

**橋尾** 小学校の副読本の偉人伝に歌人山口茂吉が載っています。門脇政夫（敬老の日）、山田勢三郎（山田錦）、夏梅太郎（右衛門（故郷を守る））の3人です。

山口茂吉を追加すべきです。

**答** 次回の改訂時期に  
十分検討

**教育長** 山口茂吉は歌人齋藤茂吉の弟子です。平成30年3月発行の社会科学副読本、郷土に尽くす人で取り上げています。

次回の改訂時には十分参考にします。

**問** ごみ焼却炉  
建設計画を中止せよ

**橋尾** ごみ処理施設（1市1町）建設計画を中止し、4市1町に復帰すべきです。

**答** 議員全員協議会で  
同意を得た

私の試案では、1市1町で実施するよりも、施設費と運営費が99億円と大幅に軽減されます。住民負担が4市1町より2倍かかります。自治法では行政が住民に不利益をもたらす場合、議会の承認がないとできません。特別委員会などを設けて検証すべきです。

**町長** 4市1町では建設費10億円と運営費10億円計20億円のスケールメリットがありますが、収集運搬費が35億円の増加となり1市1町のほうが15億円安価です。みどり園を15年間延命すれば約26億円が必要です。

最近では7月8日の議員全員協議会で、1市1町で進めることに同意を得ていると認識しています。

**問** 辺地対策債は有効に使え  
**答** バランスを考え事業採択する



山口邦政議員

**山口** 多可町内には辺地法に基づいて辺地に指定された集落が11集落あります。法律では「辺地とは交通条件及び自然的、経済的、文化的条件に恵まれず、ほかの地域と比較して、住民の生活文化水準が著しく低い山間地等地域で、住民の数その他政令で定める要件に該当している地域」とされています。

そして、この法律では「これらの地域とほかの地域間における住民の生活水準の著しい格差の是正を図るために、公共的施設の整備に関して財政上の特別措置等を講ずることになっています。」

特別措置では辺地債を活用して事業ができ、後年度での交付税措置が80%と有利な起債を発行できます。多可町でも、辺地債を利用し鳥獣害防止柵や消防車などの更新の事業を

進めています。しかし、これらの事業は集落要望の中で、事業採択されたものから該当集落の事業があれば充当されています。

本来の法の趣旨の格差是正のための活用となっていない。辺地地域の活性化のために有効活用すべきではありませんか。

**町長** 辺地対策事業は、交通通信、厚生施設、教育文化施設、産業振興施設などにも活用できるものとなっています。

集落要望は、緊急性、必要性、事業内容を総合的に考慮して採択しています。

辺地地域の特殊性は考慮の余地があり、格差を埋めることを否定するわけではありません。バランスの取れた事業採択という観点から、他の地域と同等の整備内容で実施していきます。

今後対象地域で事業を実施する時には、有利な財源として積極的に活用します。



辺地債を活用したシカ柵



吉田 政義 議員

問 高齢者の運転免許証自主返納は  
答 家族からの働きかけが一番

吉田 高齢運転者による死亡事故など悲惨な交通事故が相次いで起こっています。

内閣府の調査では、80

歳以上の4人に1人が運転しており、このうち6割近くはほぼ毎日運転していますが、運転を続ける理由はさまざまです。



車が無いと生活できまへん

多可町のような中山間地では公共交通が発達しておらず、買い物・病院・農作業などに車が必要のため、免許証を返納すれば生活ができないのが実情です。

身体的不安を抱えながらも、やむなく運転されている人も少なくないと思います。そうした不安や不便を解消する支援が行政に求められています。高齢化が一段と進む中、運転免許証自主返納は難しい問題だと思いますが、多可町の現状と取り組みを聞きます。

町長

バス運賃の助成をしていますが、公共交通が十分とはいえない本町では、運転免許証自主返納はなかなか進んでいません。自主返納の現状は西脇警察署管内の過去5年間で867人、内多可町が257人です。管内65歳以上の免許証保有者の約6.7%です。

福祉タクシー乗車券の対象者に65歳以上の免許証返納者を追加しています。返納については、町や関係機関に強制力はありません。高齢者にはさまざまな支援をしています。効果があがっていない状況です。家族からの働きかけが、一番効果的であると考えます。不慮の事故を防ぐ、自動ブレーキなどを備えた「安全運転サポート車」への補助は、県と相談しながら進めていけたらと思います。

町長

高齢者の交通事故防止だけでなく、移動手段の確保、総合的な生活支援策として、先進的な自治体の取り組みを参考に検討していきます。



廣畑 幸子 議員

問 昼間一人暮らしの人にも安心を  
答 取り組みの情報提供をする

廣畑 通称「命のバトン」の設置対象者は、65歳以上の一人暮らしや夫婦世帯などです。しかし、昼の間に高齢者が一人または夫婦のみでも家族が多い家庭などでは、対象外です。

先日寺内の区長さんから集落独自の「緊急時の安心・情報シート」をいただきました。このシートは、命のバトンと同様、緊急時の必要な情報を記入し、冷蔵庫に張っておくものです。

多可町では、昨年より「コークゼミ」がスタートしています。こういう情報も学習に取り入れるべきです。

町長

家族のある高齢者は、「命のバトン」の配布対象者にはなっていないかもしれません。しかし、その他町長が適当と認めるものとして柔軟に対応していますが、十分な周知はできていません。今後要綱の改正も含めて

検討します。

寺内集落の取り組みは、30年度から自主防災組織支援事業に加えた個別支援計画作成に取り組みされた4集落のうちの一つです。この取り組みを集落自主防災組織内での一つの仕組みとして集落防災委員だけでなく「コークゼミ」などでも情報提供していきます。

問 命のバトンの普及啓発に工夫を

廣畑 命のバトンの普及啓発にもっと工夫がいるのではありませんか。広報たか7月号に「準備しよう高齢者・障がい者の万が一に救急医療情報キット（通称命のバトン）」の記事がありました。それが、どなたの気が付いたのでしょうか。

町長

ポスター掲示を、診療所や多可赤十字病院、町内の福祉施設などにお願ひし、制度の必要な人に行き渡るようPRに努めます。

答 常設展示も考える

老人会に説明できる機会があれば積極的に行きたいと思えます。命のバトンの常設展示は、前向きに検討します。

冷蔵庫に貼ってくださいね

緊急時の安心・情報シート (Form with fields for name, age, sex, blood type, address, hospital info, emergency contacts, and health insurance details.)



加門 寛 治 議員

**問** 公共財産の処分の進捗状況は

**答** 今後も協議が必要

**加門** 多可町公共施設等再配置計画は、30年度に方針が決まったのですが、1年以上上たった今、どうなったのかお聞きします。

**町長** 八千代陶芸教室は本年度取り壊し予定。旧八千代給食センターは土地と共に30年度に売却。老人福祉センター・林泉荘は現在解体



思い出いっぱい — おもいで荘 —

工事の設計中で、おもいで荘は譲渡に向けて調整中。旧八千代消防駐在所は書庫として活用。青年の家と周辺施設などは民間事業者へ使用貸借しています。

**加門** その中で、借地料を支払っているところがあれば年額の借地料を教えてください。

**町長** 取り壊し対象施設の借地料は、年間62万7千円です。

**加門** 林泉荘、おもいで荘、春蘭荘は、老人福祉法で規定する老人福祉センターですが、3カ所ともなくしても問題は無いのでしょうか。

**町長** 町が合併し、介護保険制度によるサービスが充実してきたことで、老人福祉センターの位置付けである相談支援、機能訓練などは介護サービスがその役割を担う流れとなっており、現在、林泉荘は取り壊

しを準備、おもいで荘は地元集落との調整中です。春蘭荘は、その2施設と比較するとまた新しく、平成3年にオープンし、温泉施設を有している多可町唯一の施設です。しかし、設備の更新、大規模改修が必要な施設です。多可町の公共施設等再配置計画では、改修をせずに継続管理となっています。今後、他の遊休施設との集約を検討しながら老人福祉に特化するということよりも、全ての世代が利用できる交流的施設の配置が発展的な事業展開につながるものと考えています。



笹倉 政 芳 議員

**問** 多可高校の活性化に取り組み

**答** 行きたい行かせたい高校に

**笹倉** 県立多可高校は、地域に密着した存在感のある大切な学校です。過去5年間の卒業生を平均すると、50%近い生徒が福祉関係を中心に多可町をはじめ近隣市町の企業に就職しています。

しかし、少子化の中で、兵庫県教育委員会の方針で多可高校の定数が減り、今年度から1学年2学級になりました。このまま学級数が減少すれば、地域にとっても大きな損失になると懸念されます。

多可高校は福祉教育活動にいち早く取り組んでいます。魅力的になるよう戦略的に取り組むべきです。

「県立多可高校活性化協議会（仮称）」を早急に設立すべきです。

そこで、介護福祉を専門に習得できる介護福祉科など、広い地域から多可高校で学びたいと希望してもらえようような特色のあるコースの設置を検討

討し、県の教育委員会に進言するべきです。  
**教育長** 特色ある科の新設ですが、例えば介護福祉科を新設すると、現状普通科2学級

**教育長**

の内1学級は介護福祉科もう1学級は普通科となります。課題として、介護福祉科の40人の定員を確保できるかという問題と、普

通科1学級になったときに地元の子もたちの選択の幅を狭めることにならないかと危惧します。今後は子どもたちが行きたい、そんな高校を目指して生徒、教職員、そして地域の皆さんと一緒に考えていく必要があります。

今年度、多可高校生ワークショップを2日間開催し将来を担う高校生の意見を第2次総合戦略に盛り込む考えです。

また「多可高校活性化協議会（仮称）」の設立も含め、町内唯一の県立高校の活性化に向けて取り組みを進めていきます。

**町長**

多可町としても、福祉の部署で協力できることを検討し、多可高校の2クラスが維持できるように一緒に取り組んでいきます。



「福祉のこころ」を育む多可高校



酒井 洋子 議員

**問** 新ごみ処理施設の展望は

**答** 環境負荷のない施設を目指す

**酒井** 高度化・大型化した焼却施設は建設費・維持経費共に膨大です。より積極的にごみ減量と資源化を進めるべきです。ごみ処理施設を持たず、2020年までにごみゼロを目標に掲げる徳島県上勝町は、目標の80%以上を達成しています。資源リサイクル率11年連続首位、1市1町で処理施設を運用している鹿児島県大崎町と志布志市は、施設に予算をかけないという決め、まちの未来を職員や首長が粘り強く説明し、面倒な分別に住民が協力しています。物を大切に思ういやまちへの誇りなど、住民意識が育つこのような方向性は、「丁寧なまち」にしわき・たか」にマッチしていると感じます。建設してしまえば30年間稼働し続ける処理施設、どのような検討をしているのでしょうか。

**町長**

上勝町、志布志市、大崎町の取り組みはひとつの理想形ですが、それに近づくためには施策・熱意と町民・事業者の皆さんの理解と努力が必要です。多可町は一人当たりのごみ排出量が県内でも少なく、環境意識は高いと言えます。

さらなるごみの減量化、資源化に取り組み、環境負荷のない効率の良い施設を目指します。

**問** 農林業公社  
その後を問う

**酒井** 本年3月末で解散になった農林業公社の業務引継ぎと今の状況、また出捐金の町への返還スケジュールはどうなっていますか。

**答** 事業は問題なく継承されている

**副町長** 耕運や田植えなどの作業受託や育苗管理は地元の農業



おいしいイチゴはお任せあれ

法人で、土壌改良は以前からの認定農業者に、農地の借り入れによる保全管理は農業法人や営農組合、認定農業者に継承しています。またイチゴは、それまで栽培をしていた公社職員が新規認定農業者として

継承し、播州地卵は養鶏認定農業者が継承しています。出捐金などの残余財産は、理事会評議員会の承認を得て多可町に帰属します。現在弁護士である代表清算人が清算作業をしています。



市 位 裕 文 議員

**問** 地元メンバーを入れるべき

**答** 一つの案として検討する

**市位** 八千代北小学校の跡地活用事業は、26年度に町の要請で地元の意見をお聞かせくださいから始まりました。サテライトキャンパス構想、NGI構想を含め紆余曲折があり、現在の特色のある図書館を含む生涯学習センターへと6年間におよぶ検討を進めてきました。しかし今回、旧八千代北小学校跡地等活用検討委員会から民間公募による利活用との答申を受けました。今後は、一般公募に向けてスケジュールが進むと思われる。地元集落はその答申を不満として、7月24日に連絡会の思いを託した要望書を提出しました。地元住民の思いが少しでも届くように、選定委員会に地元メンバーを入れるべきです。

**町長**

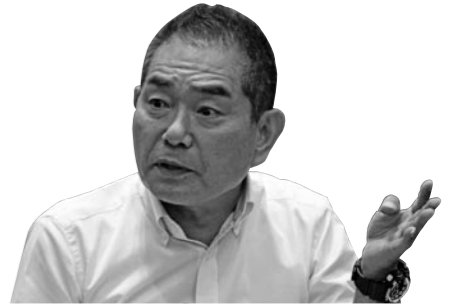
旧八千代北小学校の利活用は、平成27年6月から地域で民間活用の可能性を検討してもらいました。その後、検討されていたプランの実施は困難に

なりました。平成28年12月に跡地活用に向けて公募を検討してほしいとの回答を受け、町で公募に向けて取り組みを進めてきました。平成31年2月からは旧



地元の思いが届きますように — 旧八千代北小学校 —

八千代北小学校跡地等活用検討委員会で、公募に向けた利活用のコンセプトを検討して、6月28日に報告書の提出がありました。それを受け民間の自由で柔軟な発想を生かし、地域を活性化できる取り組みを進めるため、民間公募に向けて作業を進めています。民間事業者の選定に当たっては、地元の思いを反映できる方法で取り組みたいです。選定委員会のメンバーに入ってもらうことも一つの案として検討します。



日原茂樹議員

### 問 RPAの導入で働き方改革を 答 導入に向け取り組みを進める

**日原** 厳しい財政状況のもと行財政改革に取り組み、職員削減などで、経費削減をしてきました。しかし、住民ニーズが多様化している現在では職員一人当たりの業務負担が増加し、今後も増え続けます。そのような中、RPAに取り組み自治体が増えてきています。RPAとは、単純な帳簿作成や入力動作など、定型作業を自動化して、作業の効率化を進める取り組みです。

先行して試験導入している自治体では、業務の効率化が進んだ事例が多く出ています。

職員の負荷軽減と、行政サービスの向上に繋がる働き方改革を推進するため、RPAの導入を提案します。

**町長** 多様化する業務の中で、RPAで対応できるものを常に模索しています。県の電子自治体推進協

**日原** 近年頻発する大地震や豪雨などの災害対策に、自治体でドローンの導入が進んでいます。大規模災害時には迅速な情報収集で被害拡大を防ぐことができ、橋梁の点検・農薬散布・防犯安全対策や観光情報の発信などにも利用できます。

また、民間事業者と協定を結び、災害時などに運用する自治体もあり、ドローンの活用には大きな

### 問 ドローンの活用を



活躍中のドローン

なメリットがあります。

**答 民間事業者との協定を検討**

**町長** 大規模災害発生時の状況把握が、迅速かつ安全にできることから、災害時に民間事業者から、ドローンと操縦者を提供してもら

える協定の締結から検討していきます。

災害対応や道路、公共施設の点検などへの活用や、近隣市町の取り組みを注視し、ドローンの効果的な活用を考えます。

※RPA (Robotic Process Automation)

う  
ぐ  
い

令和元年7月17日に、熱中症などの暑さ対策で設置してあるスポットクーラーの状況の視察に行きました。

杉原谷小学校では、6台のスポットクーラーと空調設備のある教室を利用して暑さ対策をしていました。

3階にある4、6年生の教室に2台ずつ設置。窓を開けスポットクーラーとともに天井扇を回して使用。風が通ることで涼しく感じられました。

八千代小学校では、12台のスポットクーラーを固定せず、必要に応じて移動しての利用でした。

しかし今年の7月は、昨年のような厳しい暑さではないので、空調設備のある部屋を使うほどではなく、各教室で1台ずつ使用していました。

## 夏の暑さへの臨時対策 スポットクーラー設置

総務文教常任委員会



ピンチヒッターがんばる  
— 杉原谷小学校 —

**涼しいのは少しいだけ**

エアコン設置工事が間に合わないため臨時の対策として用意したスポットクーラーでしたが、冷やすというより、風の流れて涼しく感じるようなことができるに留まっているようでした。議員が「涼しいですか」と聞きますと「少しだけ」と児童は答えていました。

来年の夏には、各教室にエアコンが完備されます。猛暑でも快適な学校生活を送れるようになりますので、お待ちくださいいね。

令和元年8月16日に開会中の所管事務調査をしました。

### 投票所はどう

☆総務課  
参議院選挙での質問

**問** 投票所は、合併時からずいぶん減って現在は11カ所です。今後有権者数が減ると、投票所ももっと減るのですか。

**答** 人数が減ったからと言って投票所をこれ以上減らすことはありません。

**問** 場所が変わって、今回どこに行けば良いかわからず、困っていた人があったようですが。

**答** 役場、きた公民館、松井庄診療所など間違えて来られた人がありました。変更の連絡を、投票用紙と同封してお知らせしましたが、今後もっと工夫が必要と考えます。

### 英語の授業が 小学校にも

☆学校教育課  
小学校の英語授業の説  
明を受けて

**問** 来年度、本格的な授業は5年生から始まり、週2時間です。小学校では2年間で700語覚えたとあります。子どもたちは大変と思いますが大丈夫ですか。

**答** 小学校では、覚えるという点より慣れ親しむという点を重視しています。

**問** 再来年から中学校の英語の授業は、オールイングリッシュとなりますが、小学校を含め国語の勉強がもっと必要では。

**答** 国語の力がすべての学習のベースとなりますが、英語を早くから学ぶことも大事です。

委員会では、今後も、事業の検証、検討を重ねていきます。

(廣畑)

# 森林に光を届けたい

生活環境常任委員会

## 森林の管理体制整備と成長産業化に向けて

平成31年4月から森林経営管理制度と森林環境譲与税の制度が開始されました。



山を活かせ

令和元年7月26日に閉会中の所管事務調査をしました。

**森林経営管理制度の概要は**

- 森林の所有者の責務は「山が手入れ不足にならないように、伐採、植栽など森を育てることで森林の経営管理すること」と具体的に示されました。
- 所有者が経営管理できない場合は、町に委託することができま
- 町は、経営に適した森林を、意欲と能力のある林業経営者に委ねることで管理します。
- 地理的条件が悪いなど、経営に適さない森林は、町で管理します。

### 町の森林の状況は

多可町全体で、約5400haが経営に適さない人工林になっていると予測されます。

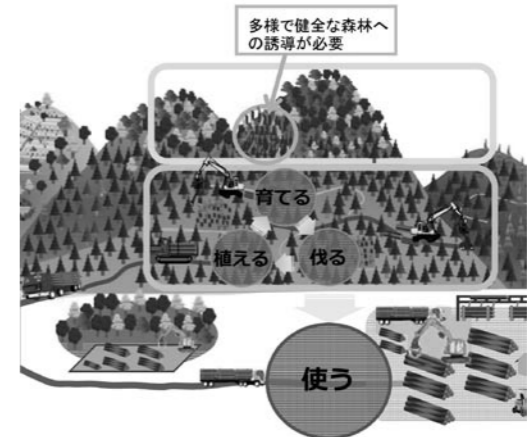
### 町の役割は

県が認定する、意欲と能力のある林業経営者と、森林所有者をマッチングすること、経営に適さない森林を管理することです。

### 森林環境譲与税を活かして

森林環境譲与税は、間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発などの森林整備やその促進のため、年1000円課税されます。

森林整備を実施する市町村などに配分されるこの税を活かして、条件が悪く経営に適さない森林の整備をします。



法の整備で、町は森林環境譲与税を受け、森林の管理をすることになります。今後の林業経営者とのマッチングが、運用のキギです。

森林に光が当たり、再び活用するためのこの制度、運用をさらに検証し、委員会として提言していきます。

(山口)



ようこそ多可町へ

## 議会広報編集特別委員会

### 香美町議会が来庁

令和元年7月25日に香美町議会広報公聴委員会が、議会だよりと公聴部門の充実のため、多可町議会広報編集特別委員会の取り組み状況を、視察研修に来られました。

まず、編集の基本方針や編集委員の役割分担と発行までの進め方を委員が説明した後、香美町議

会から表紙写真および挿入写真の決め方、記事の内容とレイアウトなどの質問がありました。

さらに、表紙写真の内容は決めているのか、一般質問の内容など、さまざまな質問を頂きました。より良い議会だよりを作成するために、活発な意見交換をさせていただきました。有意義な研修になりました。

### 全国で一番の議会だよりを目指して

議会広報編集特別委員会が視察研修を受けるのも今年3回目です。

全国の議会からお手本にされるような議会だより編集に、また「読みたくなる議会だより」の作成に委員全員で取り組んでいきます。

(日原)

# 住民参加と開かれた議会を目指して

### 議場の有効活用

多可町議会では「新しい議場を広く使用して頂く」をコンセプトに、また昨年の高校生議会での静かに勉強できる場所がほしいとの提案もあり、夏休みに議場を開放しました。

今夏の連日の猛暑対策として、また中高生の皆さんに議会をより身近に感じていただくため、夏休み期間中の8月19日から23日までを自習室として開放しました。

期間中は延べ、13人の中高生が自主学習に取り組まれました。

### 利用者からの声

「議場が広くてびっくりした」「天井が高くて開放的で勉強しやすかった」「来年は友達を誘って一緒に宿題をする」などの声が寄せられました。中学生から質問が飛び、議員も一緒になって勉強



静かで良く勉強できるネ

したりと、意義のある交流の場となりました。

時間がない中での議場開放でしたが、来年度はしっかり準備と工夫をして、多くの中高生に来てもらう「開かれた議会」づくりに取り組みます。